

広域防災ため池等整備モデル事業（新規）

【100（0）百万円】

対策のポイント

農村地域における大規模かつ広域的な洪水被害を未然に防止するために、ため池群の洪水調節機能の強化を支援します。

（災害に係る農村の現状）

- ・ 平成19年に発生した台風4号や新潟県中越沖地震などのように、近年甚大な自然災害が多発化しています。
- ・ 地球温暖化の進行に伴って大雨の頻度や熱帯低気圧の強度が高まるなど被災リスクが増大しています。
- ・ 農村の過疎化、農家の減少・高齢化に伴い、農地・農業用施設を管理する農家の防災対応能力が低下する一方、混住化の進展等に伴い被災リスクが増大するなど、農村の地域防災力が低下しています。

政策目標

集中豪雨等による被害の発生するおそれのある農用地（延べ81万ha）について、防災・減災対策を実施

< 内容 >

農村地域における広域的かつ大規模な洪水被害に対応するために、農村地域に点在する既存のため池群に洪水調節容量を持たせ、互いのため池を連携させることにより、効率的・効果的な広域での防災対策を一層促進します。

< 事業実施主体等 >

1. 事業実施主体 都道府県
2. 補助率 50 / 100、定額等
3. 事業実施期間 平成20年度～平成31年度
（採択期間 平成20年度～平成22年度）

[担当課：農村振興局整備部防災課（03 - 6744 - 2210（直））]